

様式 1

環境保全行動
自動車使用管理 計画提出書

2025 年 4 月 24 日

(宛先) 札幌市長

提出者 住 所 〒 060-0003
札幌市中央区北3条西1丁目2番地9
氏 名 株式会社 札幌ホテルマネジメント
(代表者名) ANAクラウンプラザホテル札幌 総支配人 小柳裕司
(法人にあっては、名称及び代表者の氏名)

札幌市生活環境の確保に関する条例に基づき、環境保全行動計画を
自動車使用管理 策定しましたので、次のとおり提出します。

事業の概要		75 宿泊業					
事業 の 規 模	従業員数	169	人	原油換算した	1,909		kl
	使用床面積	36,760	m ²	燃料・熱・電気の合計量			
	事業所数	1	事業所	自動車使用台数	2		台
	温室効果ガス排出 量 (二酸化炭素 換算排出量)	エネルギー起源CO ₂ 4,040 t-CO ₂	メタン t-CO ₂	N ₂ O t-CO ₂	HFC t-CO ₂		
		非エネルギー起源CO ₂ t-CO ₂	PFC t-CO ₂	SF ₆ t-CO ₂	NF ₃ t-CO ₂		
提出根拠		条例第13条（環境保全行動計画）				☒ 第1項 ☐ 第3項	
		条例第23条（自動車使用管理計画）				☐ 第1項 ☐ 第2項	
計画書の担当部署		担当部署名 担当者氏名 電話/FAX 電子メールアドレス					
計画期間		2025 年 4 月 1 日～ 2028 年 3 月 31 日					
環境保全行動 自動車使用管理 計画書		別添のとおり					
備考	環境マネジメントシステムの 認証登録の有無及びその種類	☐ 有（認証名） ☒ 無					
	その他						

- 注 1 事業の概要は、事業所における日本標準産業分類の中分類項目に掲げる業種及びその業種に対応する日本標準産業分類における分類番号を記入してください。
- 2 従業員数、使用床面積及び自動車使用台数は、4月1日現在で記入してください。
- 3 事業所数は、4月1日現在の札幌市内事業所数を記入してください。
- 4 燃料・熱・電気の合計量は、計画期間の初年度の前年度に使用した量を原油換算して記入してください。
- 5 原油換算の方法は、エネルギーの使用の合理化及び非化石エネルギーへの転換等



に関する法律施行規則第4条に規定する方法で行ってください。

6 温室効果ガス排出量は、地球温暖化対策の推進に関する法律第2条第5項で規定する方法により、二酸化炭素排出量に換算したものを記入してください。

7 □のある欄には、該当する□内にレ印を記入してください。

8 環境マネジメントシステムの認証登録がある場合は、認証登録の範囲が分かる書類の写しを添付してください。

備考 この様式により難しいときは、この様式に準じた別の様式を使用することができる。

別添

環境保全行動計画書
自動車使用管理計画書

1 基本的な方針

IHGグループでは、環境問題を経営における重要課題の一つとして位置づけ、グループの行動指針にある「社会と共に歩み続けます。」を環境対策の側面から具体化した、新環境行動計画「ANAグループ エコロジープラン」の周知徹底に努めて参ります。当ホテルも、札幌市の「生活環境の確保に関する条例」の主旨とも整合させ、環境保全の取り組みを進めます。今年度からは、前年からの「二酸化炭素・廃棄物」の削減はもとより、地下水の採取量に重点を置き、各1%の削減を実現出来る様に、取り組みを進めて参ります。

2 行動目標

【計画期間】

2025 年 4 月 1 日 ～ 2028 年 3 月 31 日

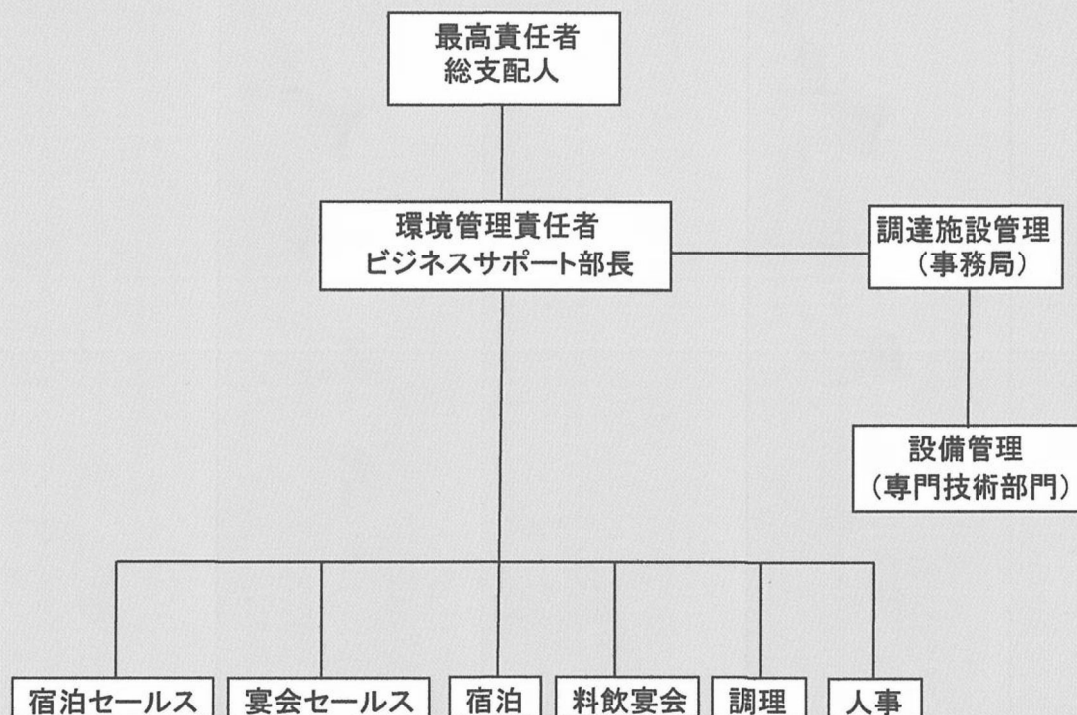
行動目標	基準数値		目標削減率		目標数値		基準数値の設定根拠	削減項目
	数値	単位			数値	単位		
二酸化炭素排出量の削減	4460	Kg	1	%	4420	Kg	2024年度基準	ガス・電力・熱供給
地下水採取量の削減	178865	m³	1	%	177000	m³	2024年度基準	
廃棄物の排出量抑制	279250	Kg	1	%	276000	Kg	2024年度基準	
				%				
				%				
				%				

- 注 1 目標削減率は、基準数値（二酸化炭素排出量等）に対する削減率です。任意で設定してください。
- 2 目標数値は、基準数値と目標削減率から算出してください。
- 3 自動車使用管理計画策定義務を負う事業者は、自動車の使用に伴う二酸化炭素排出抑制に関する目標を必ず設定してください。
- 4 基準数値の設定根拠には、基準年等を記入してください。

3 行動計画

行動目標	行動計画	責任部課	実行部課	2025 年度	2026 年度	2027 年度
の二電 削酸 減化 使用 炭素 排出 量に 伴う	各空調機の適切な運転	施設管理	設備			
	LED電球への交換	施設管理	設備			
	各設備での最良効率向上の為 のメンテナンス	施設管理	設備			
	従業員エレベーターの使用制限	人事	全従業員			
減化熱 炭供給 排出に 伴うの 二酸化 炭素	冷凍機の適切な運転・停止	施設管理	設備			
	温水の適切な温度管理	施設管理	設備			
減化メ 炭タン 排出に よるの 二酸化 炭素	廃棄物量の削減	人事 施設管理	全従業員			
減地下 水採取 量の削	機械用水の適切な管理	施設管理	設備			
	還元水の適切な管理	施設管理	設備			
	浴室部品の適正流量の調整、 部品交換	施設管理	設備			

4 環境保全に係る実施組織体制



※実行主体となる現場担当者と総意ある現場での行動目標を尊重する。

5 その他（環境保全活動の取り組み等）

- ・すべての管理 運転を見直し、天候 お客様のニーズ等、適切な状況判断のもとで、もっとも効率的な操作を絶えず追求します。
- ・年間目標 月々の目標を設定し、長期 短期的にも成果を検証できるように経験の蓄積 理論的考察を重視した継続的取り組みを行います。
- ・管理数値を把握し、故障 異常等を早く発見し、被害を最小限で止められるように、技能 資質の向上に努めます。

以上の視点で日常業務の見直しを図っていきます。